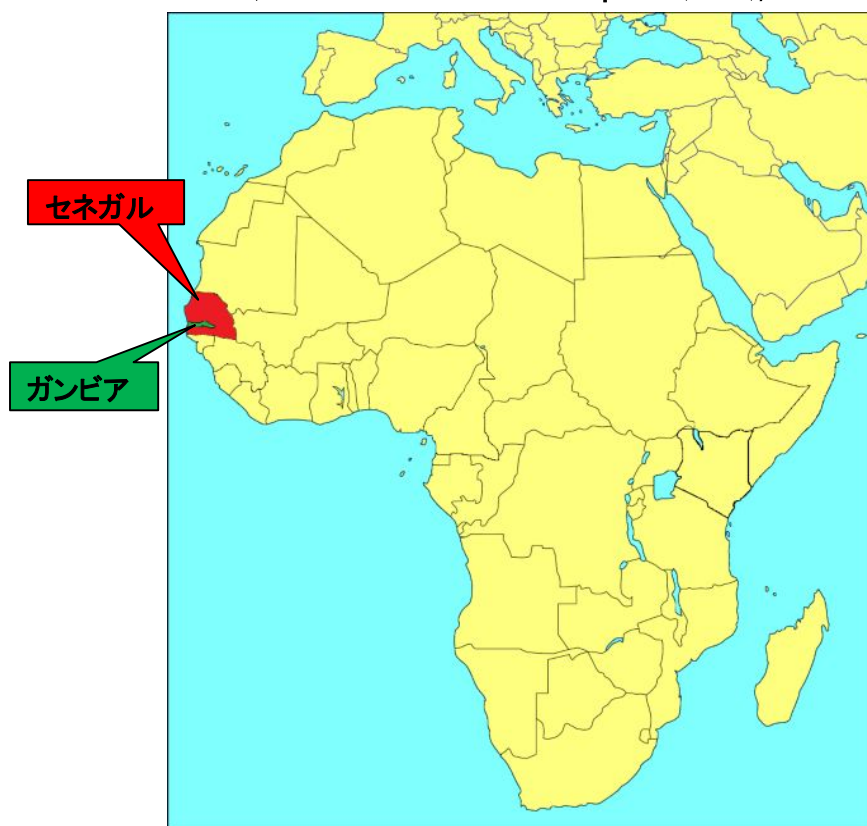


セネガルで黄熱が発生

2010年10月6日 ProMED 情報

(WHO Global Alert and Response(GAR),Disease Outbreak News)



9月20日、セネガル保健省は黄熱疑い患者1名がティエス Thies 州のムブール Mbour 保健区(ダカルから約50kmの位置)の病院に入院したと発表しました。この患者はガンビア Gambia のタンジ Tandji [Tanji]で働いている27歳の漁師で、発熱と黄疸の症状がありました。ダカルのパスツール研究所におけるELISA検査とPRNT(plague reduction neutralization test)検査によりIgM抗体が検出されました。患者は黄熱の予防接種をしていませんでした。

2例目の疑い患者もティエス州から報告され、同様にガンビアのタンジの漁師です。この患者は精神状態に異常を示すなど神経症状を呈しています。この患者については、ダカルのパスツール研究所での検査で確定診断はなされていません。

セネガルでは2007年に、18地区の310万名以上の人々に対して大規模な黄熱予防接種活動が実施されました。2009年における、同国の黄熱に対する幼児への接種率は79%でした。

ガンビアでは1978～1979年に黄熱の流行で、患者8,000名と死亡患者1,700名が発生しました。1979年1月の同国の接種率は95%と推定されました。また、2009年の幼児の接種率は99%でした。このようにセネガルとガンビアでの最近の高い接種率を考えると、流行が発生することは予想されませんし、緊急の予防接種は必要とされていません。